

## 社会総がかりで 未来にはばたく子どもを育てよう

### 家庭

家庭での読書の大切さを実感



子育ての悩みについて交流



簡単朝ごはんづくりに挑戦



一人一人に応じたきめ細かな指導



まごころの接客・販売学習



### 学校

高校生が先生役 小学校で授業



専門家による心に響く授業



### 地域社会

地域の方と一緒に稲刈り



登下校の見守り活動



地域の方からの技術指導



## 学校・家庭・地域社会の連携

少子化や核家族化が進む中で、人與人、人と地域のつながりが希薄化していると言われています。

京都府教育委員会では、学校・家庭・地域社会が一体となって子どもを育てることが重要と考え、市町（組合）教育委員会やPTA、府民の皆様の協力を得ながら、様々な取組を行っています。

現在、子どもたちへの読み聞かせや登下校の安全指導、花壇の整備など、たくさんの地域の方々にボランティアとして学校を支えていただいています。また、子育ての不安や悩みについて気軽に話しあえる場を設けるPTAの取組なども広がっています。

これからも、21世紀を担う子どもたちが、夢や希望を持って世界にはばたくために、学校・家庭・地域社会の連携した取組がさらに進むよう、様々な支援に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 基礎学力の定着を図り、活用する力を育てます!

## 中1 振り返り集中学習 ～ふりスタ～

今年度新たにスタートした「ふりスタ」は、府内市町村の全中学校が実施し、参加した生徒や保護者に大変好評でした。

### 「ふりスタ」とは

- ・ 中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきを解消するため、小学校段階の振り返り学習を実施
- ・ 国語や数学(算数)等、一人一人に応じた学習内容を、放課後や夏休みに実施

## チャレンジ学習

府内の18中学校で希望する中学1年生を中心に、放課後等に漢字・数学・英語検定の問題など、より高いレベルの学習に挑戦しました。

参加した生徒からは、「次の級の検定に挑戦したい。」などの声が寄せられ、新たな目標を持って、熱心に取り組みました。



## 『ことばの力』育成プロジェクト

### 学習プログラムの開発

京都府教育委員会では、「ことばの力(言語力)」の育成のために、府内の21の開発協力校(幼、小、中、高等学校)において、発達段階に応じた学習プログラムの開発を進めています。

その1つとして、小学校の学習をスムーズに始めるための「聞く力」「話す力」を身に付ける学習プログラム「小1 ようい・どんプログラム」の実践DVDを作成し、保育所、幼稚園、府内市町村小学校に配布しました。



### 親子の言葉の葉の発行

この小冊子は、3歳～5歳児の保護者のみなさんを主な対象として、親子の会話を豊かにするためのちょっとしたコツやヒントを親しみやすいイラストを使って紹介したものです。

府内公立幼稚園、保育所に配布しているほか、ホームページにも掲載していますので、ご家庭での会話の大切さについて考える機会としていただければと思います。



ホームページ

<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/shiori-all.pdf>

各地域での取組内容を紹介します。

## ふりスタでやる気UP!!

乙訓管内の中学校では、1学期の放課後や夏休みに「ふりスタ」を実施。中学校に入学したばかりの生徒たちが、学習支援員の指導による国語や数学等の学習に懸命に取り組みました。

参加した生徒からは、「数学の問題が解けるようになった。」

「成績が少しあがってうれしい。」  
「また、機会があれば参加したい。」  
などの声が寄せられ、2学期からの学習にも意欲を見せていました。



乙訓

## 体験したことをことばで表現しよう

### 【文章表現カスルアップ】～800字程度の随筆が書ける～

向日市立第5向陽小学校では、総合的な学習の時間を中心に、体験したことをことばで表現したり、新聞を活用した学習を行ったり、全学年で「ことばの力」の育成に取り組んでいます。

6年生は、「京都市歴史探検」の中で心に残った場面について、俳句や写真も添えて描写の表現を大切にしました。『随筆風体験記』にまとめました。



各自が書いた表現カード(体験メモ)を使って、どのような表現方法が効果的か友達同士で話し合いながら作業を進めました。

きょういく  
きた みなみ

## 高校生・大学生が先生役に

ふりスタの指導には、退職教員や教員を目指している大学生が参加しました。

また、宮津市立宮津中学校では、独自の取組として、宮津高校の生徒が先生役となって指導に加わりました。



参加した生徒からは、「時間をかけて、ていねいに教えてもらった。」「しっかり聞くことで、わからなかったことが、わかるようになった。」などの声が寄せられ、これからも基礎基本の定着に向けて頑張って取り組もうという姿勢が感じられました。

## 発達段階に応じた学習方法を開発

### 【プレゼンテーション能力開発】

話し方や方法、資料の表現の仕方を工夫して「わかりやすく伝える力」を育てています。「何を伝えたいのか」「どう伝えるか」をはっきりさせ、思いや考えが正確に伝わるように工夫しています。



↑朝会での学年発表  
(伊根町立伊根小学校)

### 【思考力・文章カスルアップ】

新聞や身近な社会から学んだ情報を生かし、文章を工夫して作成する力を育てています。お互いの文章を読んで助言し合うなど、主体的な学びを大切にしています。



↑国語「主張を書こう」  
(宮津市立養老中学校)

丹後



# 頑張ってます高校生



## 生徒の活動内容、活躍を紹介します

### 環境リーダーを育てよう

～京都府高校生環境サミット in Syuchi～

環境に対する関心をより深め、各高校における取組の中心的役割を担う人材を育成することを目的とした、「京都府高校生環境サミット in Syuchi ～高校生環境リーダー養成研修～」が府立須知高等学校・府立丹波自然運動公園で行われました。

各高校における特色ある取組の実践発表や、環境問題について意見交流し、全員で「サミット宣言」をまとめるなど、充実した内容となりました。



生徒によるサミット宣言



意見交流会

### 将来につながる学習体験

京都の大学「『学び』フォーラム 2009」

大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短大が集まり、進学を希望する高校生に模擬講義や体験型講座を行い、2355名が参加しました。自分の興味がある学問分野を一足先に体験することができる取組です。学習意欲を高め、自分自身の将来像を明確にしていくのに役立ちました。



看護保健分野講座

### 京に文化の華・これまでの活動成果を発表

11月14日(土)から23日(月・祝)にわたり開催された第29回近畿高等学校総合文化祭。府内高校生を結集して大成功を収めることができました。

本大会の成功が、高校生の芸術文化活動推進と、平成23年度の第26回国文化祭・京都2011の成功への力となるよう、取組を充実していきます。



総合開会式(京都会館)



団体戦の熱闘 (小倉百人一首かるた部門)



生徒企画委員による 国民文化祭PR



京都府選抜バンド (吹奏楽部門)

### 国際交流で友情の輪

日中高校生が英語で交流 (11月19日～20日)

外務省の「日中21世紀交流事業」の一環で、中国から来日した高校生たち104名が府立高校(桂・洛西・桃山・西乙訓・城南菱創・亀岡・南丹)を訪れ、授業・部活動への参加やホームステイで交流し、日本の文化にふれました。



たこ焼きづくり (洛西高等学校)



授業交流 (桂高等学校)



日本の文化・茶道を習う (洛西高等学校)

### 小学生の学びをサポートします

東宇治高等学校

今年度より始まった小学校での「外国語活動の時間」に地元高校生が先生役として参加。宇治市立木幡小学校で小学生の目線に立った授業・交流活動を行いました。

小学生が学ぶ積極的な姿勢にふれ、高校生自身が学習する態度について、あらためて考えるきっかけとなったようです。またわかりやすく教えることの難しさを学ぶこともでき、とても有意義な一日となりました。



ていねいな指導を心がけて・・・



楽しい給食タイム

### 目指せ未来の科学者

洛北高等学校

「平成21年度スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会」で、最優秀賞に相当する「文部科学大臣奨励賞」を受賞しました。

今年度もSSHの取組の一環として、京都大学化学研究所、京都工芸繊維大学、京都府立大学において、それぞれの研究テーマをもとに、各研究室の先生方の指導を受け、充実した研修を行いました。



熱心な研究の様子



### 地域・学校が連携するものづくり

宮津高等学校

地元の熟練技術者の方々からの指導と専門的に学習した技術を活かし「道路クリーンキャンペーン(落書き消し)」や、「石材加工」、「瓦葺き技術」の習得など、地域と連携した様々な取組を行っています。これらの地元の人々と学校が一体となった取組が評価をされ、今年度「京のチカラ・明日のチカラコンクール」知事賞を受賞しました。



石材加工実習



島崎公園落書き消し

# 若さあふれる未来の教員育成プログラム！ ～信頼ある学校づくりに向けて～

京都府教育委員会では、教員を目指す大学生を対象に、採用後即戦力となり得る実践力を身に付けてもらうための様々な支援プログラムを実施し、今後の学校教育を支える優れた人材の育成・確保に努めています。

参加する大学生にとっても、学校現場での経験を多く積むことで、教員という仕事を具体的にとらえ、やりがいや魅力をより感じる事ができるなど、大変意義のある経験の場となっています。



学生による授業実践(研究授業)



一斉授業での指導補助



グループ学習での指導補助



学生ボランティアの実践報告  
「学生パワーブラッシュアップセミナー」(山城教育局)

## 学生ボランティア

ボランティアは、府内小・中・高・特別支援学校において授業の補助や部活動の支援を行っています。

毎年約500名ほどの学生が登録・活動しています。

## 教員養成サポートセミナー

大学と連携した小・中学校でのインターンシップ(実地演習)です。

専任の指導教員から、約半年間、授業だけでなく教員の職務全般について指導を受け、学んでいます。

## 京都府「教師力養成講座」

京都府の小学校教員を目指している大学生が、本府のベテラン教員による特別講義や、小学校現場での教師力を高めるための演習などを通して、教育実践力を磨いています。

シリーズ

人権  
じんけん



平成21年度人権擁護啓発ポスターコンクール  
京都府教育長賞  
向日市立第3向陽小学校 2年 中澤 柚葉さん

みなさん、この絵や標語をご覧になってどんなことを感じられますか？一人一人が笑顔で生き生きと個性を輝かせ、お互いがお互いを大切にしようとする気持ちが伝わってきませんか？

学校では、あらゆる教育活動を通して人権教育を推進しており、その学習の一つとして人権ポスターやメッセージにも積極的に取り組んでいます。

人権について考える機会は、普段の生活の身近なところにあります。例えば、人権ゆかりの地を訪れたときなどに、みんなで人権について語り合ってみませんか。

「笑顔でも 悩まないとは 限らない  
相談してな 友達やから」

平成21年度人権メッセージ「わたしのひこと」コンクール  
青少年の部・最優秀賞  
京都府立東舞鶴高等学校 3年 千坂 佳奈さん

参考：京都府「人権ゆかりの地をたずねて」  
<http://www.pref.kyoto.jp/jinken/1177634616251.html>

シリーズ 文化財

く に きゅう あと

## 平成21年度恭仁宮跡の発掘調査

国史跡指定 昭和32年7月 山城国分寺跡  
名称変更、追加指定 平成19年2月 恭仁宮跡(山城国分寺跡)  
追加指定 平成20年7月

奈良時代の中頃、天平12(740)年12月、聖武天皇は、遷都の詔を出し、山城国相楽郡恭仁郷(現在の京都府木津川市加茂町)に恭仁宮の造営を始め、4年あまり都として存在しました。現在は木津川市立恭仁小学校北側の土壇が大極殿跡としてその名残をとどめるのみとなっていますが、昭和48年度から京都府教育委員会が実施している恭仁宮跡の発掘調査により、本格的な都であったことが明らかになってきました。平成21年度は、宮の中心施設で、高位の役人が儀式の際に出仕した朝堂院とその控えの場であった朝集殿院とを区画する塀跡を確認しました。



恭仁宮跡全景(西南上空から)



朝堂院と朝集殿院を区画する塀跡(東から)  
※調査地北辺(右辺)の半円形の白線で囲んだ部分が塀の柱穴

ご相談ください

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、電話、来所、巡回及びメールによる教育相談を行っています。

電話教育相談 (24時間受付)  
ふれあい・すこやかテレフォン



京都府総合教育センター  
■ 075-612-3268 又は 3301  
■ 0773-43-0390

来所・巡回教育相談

■ 月～金[祝日を除く] 上記の電話でお申し込みください。  
臨床心理士又は精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

メール教育相談

■ メールアドレス sukoyaka@kyoto-be.ne.jp

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見されたら通報して下さい。

■ パソコンからは  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/netijime.htm>

■ 携帯電話からは  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/knetijime.htm>

